

2021年1月より

MINAMATA国際条約により水銀灯の製造・輸入規制が施行

水銀灯の代替は、60～300WのLED投光器が中心

“水銀灯をLED化する前に知っておきたい
普通は業者も話さないLEDの大事なお話”

下の写真A・Bは、
どちらも日本のメーカーが販売している
80WのLED投光器です。

「明るさ」と「距離」をよく見てください。

AとBどちらを選びますか？



解説はウラ



パッと見て、Bの方が10倍くらい明るく、5倍くらい遠くを照らしていますから、**同じ80Wの電力消費でBが約50倍も明るい**と言えるでしょう。

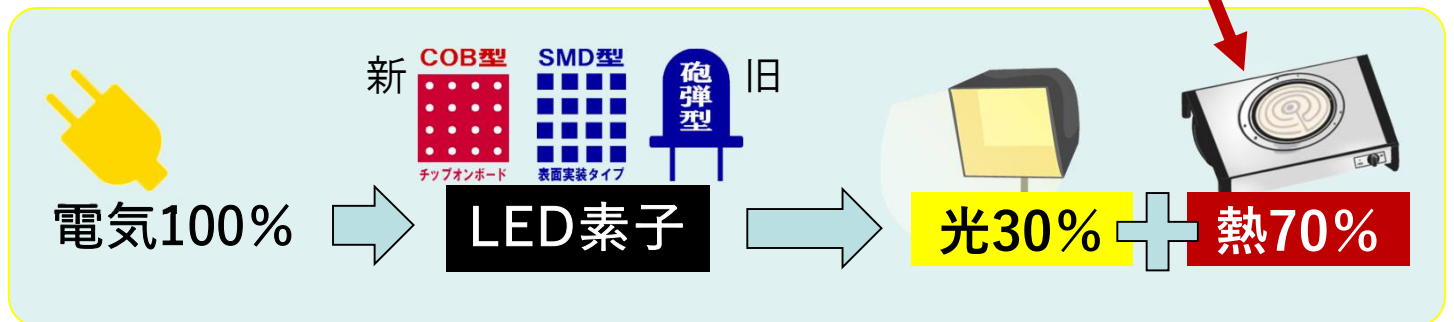
Aは、日本の大手他社の80Wです。
Bは、アステカスーパーライトの80Wです。

では一体、アステカは、大手他社と何が違うのでしょうか？

1つは投光器を高温にさせない**特許技術**、もう1つは**単一光源**

LEDで高温？と思われた方は、ネットで調べてみてください。
一般的にLED素子の電気から光への変換率は**約3割**とされています。

では、残りの7割は何処に？



例：300WのLED投光器 → **210Wが熱を生むイメージ**

高温による弊害	多重光源による弊害	高温にさせない単一光源
電子部品の故障 → 短寿命	光が飛ばず暗い → 多設置	光が明るく遠くまで届く
高温で輝度が落ち → 暗くなる	ギラツキ感のある光 → 疲労	設置数が少なく超省エネ
点灯時間の制約 → 3~10時間	多重影の発生 → 効率低下	長寿命
		春の太陽のような光
		点灯制限なし (1か月以上可能)

後悔しない水銀灯からのLED選定のコツ

- ① 高温を避ける**連続点灯時間の制限がないか**確認する。
※連続点灯時間によって保証や定格寿命が変わったという情報あり
※出力により約3時間、5時間、10時間など後から知った情報あり
※**万が一、消し忘れてしまったらどうなるのか？**
- ② デモ機があれば、実際に点灯30分~1時間後の温度を測ってみる。
- ③ LED素子の寿命でなく**電子部品が壊れたら寿命**となってしまう。
- ④ 直近の明るさルーメンでなく、距離に光が届く**ルクスで選ぶ**。

グラントツテクノロジー株式会社

PV80W



PV160W



HP

